

福島県交通安全協会活動トピックス

令和4年2月1日

交通安全ふくしま5つ星作戦

令和3年中の県内の交通事故の発生状況は、発生件数、死者数及び傷者数とも前年と比較して減少しました。

しかしながら、県警が交通死亡事故を分析すると

- 交通事故死者のうち、高齢者が6割超
- 交通死亡事故のうち、約4割が夜間に発生
- 交通死亡事故のうち、約3割が交差点で発生
- 人对車両の死亡事故のうち、約7割が道路横断中に発生
- 四輪車乗車中の死者のうち、5割が事故当時シートベルト非着用

であることが認められました。

また、平成28年から令和2年までの5年間における重大交通事故の分析結果らかも同様の傾向が見られました。

県警では、重大交通事故を防止するため重点事項として

- ① 高齢者の交通事故防止
- ② 薄暮時と夜間の交通事故防止
- ③ 交差点におれる交通事故防止
- ④ 横断歩行者の保護
- ⑤ シートベルト・チャイルドシート着用の徹底

の5項目を設定し「交通安全 ふくしま 5つ星作戦」をキャッチフレーズに展開することとしました。

交通安全協会では県警と協力し広報用ポスターを作成、交通事故防止のための広報啓発を実施します。

県警本部の大高新一交通企画課長(右)と佐藤正人専務理事(左)は2月1日県警本部庁舎で記者会見して説明しました。



～わたります 止まるやさしさ ありがとう～

